

## 06 馬ヶ城浄水場一般開放

【日 時】 平成 29 年 6 月 4 日（日）10：00～16：00

【場 所】 愛知県瀬戸市 馬ヶ城浄水場

【来場者数】 約 1,000 人（主催者発表）

【内 容】 以下のとおり

愛知用水利用地域の一つである瀬戸市において毎年 6 月の水道週間に合わせて行われる「馬ヶ城浄水場一般開放」に初めて出展しました。瀬戸市の人口は約 13 万人で、そのうち約 6 割が愛知用水を利用しており、平成 27 年 12 月に上下流交流の申し出をいただいて以来初めての交流事業となります。

馬ヶ城浄水場は瀬戸市に 3ヶ所ある自己水源の一つで、昭和 8 年より通水を開始しました。自然界の微生物を利用し、砂や砂利の積もったろ過池の中を 1 日数mの速さで流す「緩速ろ過方式」を採用しており、自然の水に近い状態でろ過できるそうです。また、管理棟は建設当時のまま残されているほか、隣接するダム of 堤防から流れ落ちる水の波紋の美しさも特徴的で、毎年一般開放を楽しみに来られる方もいるようです。

一般開放では例年浄水場の歴史に関するパネル展示や市内各水源水の飲み比べ、地元高校生茶道部によるお茶の振る舞いが行われており、住宅地に隣接しながら緑に囲まれた環境の良さから、家族連れのほか、カメラを持った方も多く見受けられました。今年は風が強かったものの好天に恵まれ、前回は大幅に上回る約 1,000 人の来場者があったとのことでした。

木曾広域連合ブースは会場入口の受付ブースの隣に設置され、「ひのきの箸づくり体験」と観光案内を行いました。箸づくりは主催者の要望により今回は無料で行ったこともあり、10 時の開場から 16 時の終了までほぼ休みなく対応し、66 名の方にご参加いただきました。参加者の中には、かんながけで「シュー、シュー」と木が削れる感覚がとても気持ち良い、と喜んでおられる方も数名いらっしゃいました。観光案内としては、『小さな旅』など数種類のパンフレットを各 50 部用意しましたが、お昼を過ぎた頃には用意したものがなくなりました。

今回の出展では、今後瀬戸市と継続的な交流を図る上で課題もいくつか見られました。

一つは、開催日が水道週間の日曜日であり、従来参加している「なごや水フェスタ」と重なりました。今回は課内職員を 2 班に分けて対応しましたが、双方とも多くの体験申し込みがあり、職員が休みなく対応することになりました。

また、今回は主催者側からの要望もあり無料で箸づくり体験を行いました。本来は水源として木曾地域の情報発信を行いつつ、体験料をいただき実質的にも木曾地域の森林整備にご支援いただけるような形を取るの望ましく、何らかの形で森林保全基金の財源につなげる仕組みが必要です。

◎ 当日の様子



受付ブース



箸づくりの様子



市内各水源の飲み比べコーナー



管理棟周辺



地元高校茶道部によるお茶会



馬ヶ城ダム